

国立市立国立第二小学校 特別支援教室

「はばたき」



国立市立国立第二小学校 特別支援教室「はばたき」



〒186-0005 国立市西2丁目13番地

電話 042-572-2197

ファクシミリ 042-572-2198

ホームページ <http://www.kunitachi.ed.jp/e102/>

国立第二小学校の教育目標

- つよく 健康でたくましい子 目標をもってやりぬく子
- ◎ かしこく 意欲的に学ぶ子 よく考え表現する子
- あたたかく 仲間と共に成長する子 全ての命を大切にする子

特別支援教室「はばたき」ってなあに？

「はばたき」では、通常の学級に在籍する、知的な遅れを伴わない発達障害等（自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害、学習障害等）、または情緒障害で、通常の学級の学習に概ね参加でき、一部特別な支援を必要とする児童が、在籍学級での授業の一部を抜けて指導を受けることができます。



- ❖ 「友達と上手くコミュニケーションがとれない」「思い通りにならなかったり負けたりすると、腹を立て感情的になる」「ボーっとしたり別のことをしたりしている」「気持ちを切り替えるのに時間がかかる」・・・など、集団生活の中で様々な困り感をもっている児童がいます。
- ❖ そういった困り感から自己肯定感が下がったり、「どうせできない」といった気持ちになったりします。
- ❖ 「はばたき」では、「できた！」「分かった！」の経験をたくさん積み、自尊感情、自己肯定感を少しでも高め、自己コントロール方法を身に付けるお手伝いをします。
- ❖ 1週間に2時間程度「はばたき」で学んでいます。

「はばたき」での学習 * 人数や時間割に応じて変更する場合があります。

「はばたき」の学習は、小集団活動と個別学習を行います。

小集団活動

2～4人程度の集団でグループ活動や話し合い活動を通して、ソーシャルスキルの獲得やコミュニケーション力の向上を目的に指導を行います。

- 友達と仲良くしたいけど、うまく仲間の輪に入ることができない。
 - 遊びのルールがわからず、いつのまにか1人になってしまっていることがある。
 - 相手の気持ちを考えることが苦手で、悪気はないのに相手を傷つけてしまう。
 - ささいなことでかっとなって、気持ちをコントロールできなくなることがある。
 - 順序立てて考えたり、複数のことを同時にこなしたりすることが難しい。
 - 冗談や社交辞令など隠れた意図を読むのが苦手。
- 学習例：インタビュー、ロールプレイ、怒りの自己コントロールなど

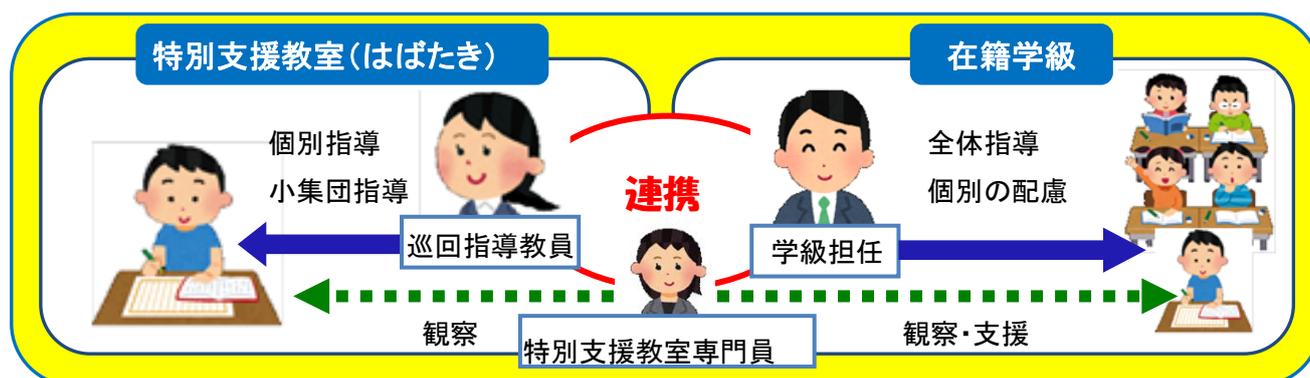
個別学習

先生と児童が1対1または1対2で学習を中心とした指導を行います。在籍学級での学習に自信をもって参加できるよう、一人一人の課題に合わせた指導を行います。

- 落ち着いて勉強ができない。
 - 学習したことをすぐに忘れる。
 - 得意不得意の差が大きい。
 - 勉強に自信をなくしている。
 - 計算・読み書きが苦手である。
- 学習例：よりよい振る舞い方の学習、目の動かし方の学習、苦手な教科の克服

在籍学級の担任との連携

在籍学級における課題を低減できるようにするために、巡回指導教員と在籍学級の担任の連携を密にします。巡回指導教員が不在のときは、可能な範囲で「特別支援教室専門員」が在籍学級の学びの様子を見取り、巡回指導教員と在籍学級の担任をつなぐ役割を果たします。



特別支援教室はばたきの支援体制

巡回指導教員・・・7名の教員が、二小・四小・八小を巡回し、学級担任と連携しながら特別支援教室における指導を行います。

特別支援教室専門員・・・巡回指導教員や特別支援教育コーディネーター、在籍学級の担任との連絡調整や課題に応じた教材作成、児童の観察や記録を行います。

臨床発達心理士・・・月に1回程度、児童の行動観察を行い、子供の状況を把握し、巡回指導教員・在籍学級担任等に指導上の配慮について助言します。

特別支援教室はばたきの指導開始まで流れ

まずは、在籍校にご相談ください。その後、在籍学級での様子や発達検査、見学・体験の様子等でお子様の状況を確認し、特別支援教室を利用した場合の効果について検討します。最終的には、学校が教育委員会に申請し、特別支援教室利用の決定がなされた後に指導開始となります。慎重に検討を進めるため、相談開始から支援方法等が決まるまでは概ね2～3か月程度がかかります。